

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立静岡北特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	386 名

1. 使用状況

寄贈物品名	カラーリングセット
使用学年及び人数	中学部1年から3年生 70人
使用頻度	年間5, 6回
使用状況	<p>学年体育やレクリエーションで使用 (R6年度は単元化し、2～3週間の中で3～6回程度、継続して取り組んだ) (R7年度は学年のレクリエーションで利用した)</p>
物品の使用による 変化や効果	<p>カラーリングを通して、どのような力加減でカラーリングを押せば得点が獲得できるかを考え調整して行う姿が見られた。 友達のプレイに対して、「うまい！」「ナイス！」「惜しかったね！」などの言葉を掛ける姿や、どうやったら高得点がとれるかなどの意見を伝え合うなどのコミュニケーションを取る姿がみられた。チーム戦では、「もっと力を入れた方がいいよ。」「○点を狙ったら？」など、投げ方をアドバイスしたり、仲間と協力する姿が見られた。</p>
今後の活用の 見通しや課題	<p>これからも広くカラーリングの利用をアピールし、小学部から高等部までのレクリエーションや保健体育、または他の学校との交流等でも利用できるように呼びかけをし、活用をしていきたい。</p>
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



カローリングの行い方を丁寧に指導しています。



順番にカローリングを投げています。



チーム戦では、投げ方について、仲間とアドバイスをし合いながら協力して取り組みました。